

令和6年度全国学力・学習状況調査結果【新木小学校】



国語

○平均正答率(県67%、全国67.7%)を比べると、本校は少し下回っている。

(1) 調査結果の詳細

<知識及び技能> 全国平均より、下回っている。

・「競技」「投(げる)」の漢字書き取り問題の正答率が低かった。特に「競技」については、無解答率が全国より約2倍となっていた。

<話すこと・聞くこと> 全国平均より、少し上回っている。

・「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうか」をみる問題では、正答率が全国よりも大きく上回っていた。

・「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたい内容を検討することができるかどうか」をみる問題では、正答率が全国よりも上回っていた。

<書くこと> 全国平均より、下回っている。

・「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうか」をみる問題では、正答率が全国よりも大きく下がっていた。

・「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか」をみる問題では、正答率が全国よりも下がっていた。また、無解答率が高かった。複数の条件に合わせて、記述することに課題が見られた。

<読むこと> 全国平均より、少し下回っている。

・「人物像を具体的に想像することができるかどうか」をみる問題では、正答率が全国よりも下がっていた。

<全体的に>

・4つの選択肢の中から1つを選択する問題での無回答率が高かった。

(2) 今後の取り組み

・問題の傾向として「複数の資料(文章、絵、図、グラフなど)をもとに読み取るもの」が多いため、国語に限らず様々な教科で日常の学習から意図的に取り組ませる必要がある。

・条件のある記述式問題に慣れていくために、文章を読み取るだけでなく、「自分の考え」と「その根拠」を書く活動や条件に合わせて書く活動を日々の学習の中で行う。

・漢字小テストなどを定期的に行い、漢字を正しく書く力をつける。

○平均正答率(県63%、全国63.4%)を比べると、本校は下回っている。

(1) 調査結果の詳細

<数と計算> 全国平均より、下回っている。

- ・「問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ問題」では、正答率が全国よりも下回っていた。
- ・「 $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く問題」では、正答率が全国よりも少し下回っていた。無解答率が高かった。
- ・「 $540 \div 0.6$ を計算する問題」では、正答率が全国よりも下回っていた。商の位を間違え、90や9と解答している児童が多かった。

<図形> 全国平均より、下回っている。

- ・「作成途中の直方体の見取図において、辺として正しいものを選ぶ問題」では、正答率が全国よりも下回っていた。
- ・「直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く問題」では、正答率が全国よりも下回っていた。体積を求める公式を理解していない児童や直径の意味を理解していない児童が多いと考えられる。

<変化と関係> 全国平均より、少し下回っている。

- ・「家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いか判断し、そのわけを書く問題」では、正答率が全国よりも下回っていた。

<データの活用> 全国平均より、少し下回っている。

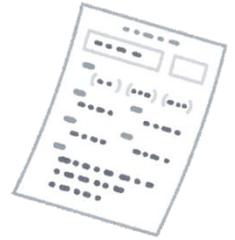
- ・「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する問題」では、正答率が全国よりも少し上回っていた。
- ・「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する問題」では、正答率が全国よりも下回っていた。また、無解答率が高かった。

(2) 今後の取り組み

- ・問題の傾向として「複数の資料(文章、絵、図表、グラフなど)をもとに、読み取るもの」が多いため、日常の学習から意図的に取り組ませる必要がある。
- ・考え方の過程を問う出題が多いため、日々の学習で公式や正解だけを教えることに加え、「なぜそうなるのか」を大切に教えていく。
- ・自分の考えを数や言葉、式、図などで説明する活動を多く取り入れる。
- ・単純計算を正しく解くことができるよう、あらかっ子タイム(15分間の学習)を活用し、計算問題に繰り返し取り組ませる。

児童アンケート

児童のアンケートから、特徴的であった質問と回答をまとめましたので、参考にしていただけたらと思います。



【質問1】朝食を毎日食べていますか。

【特徴】肯定的に回答している子の割合が、全国よりも低かった。また、否定的に回答している子の割合が、全国よりも約2倍だった。

【質問2】平日、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

(コンピュータや携帯・スマホゲームも含む)

【特徴】「4時間以上」と回答している子の割合が、全国の約2倍だった。

【質問3】平日、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマホでSNSや動画視聴をしますか。

【特徴】「4時間以上」と回答している子の割合が1番多かった。また、「携帯電話やスマホを持っていない」と回答した子の割合は、全国よりも低かった。

【質問4】携帯電話・スマホやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

【特徴】「きちんと守っている」と回答した子の割合が1番多かった。しかし、「持っているが、約束はない」と回答した子の割合が全国よりも多かった。

【質問5】学校に行くのは楽しいと思いますか。

【特徴】肯定的に回答している子の割合が、全国よりも多かった。しかし、「当てはまらない」と回答した子の割合も多かった。

【質問6】学校の授業時間以外に、平日、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

(塾や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

【特徴】「30分より少ない」「全くしない」と回答した子の割合が、全国よりも約2倍多かった。

【質問7】放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。

【特徴】「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」と回答した子の割合が1番多かった(全国も同様)。また、「勉強や読書をしている」と回答した子の割合が、全国よりも低かった。